2013年度事業報告書

NPO法人市民ネットすいた

Ⅰ　事業期間

2013年4月1日から2014年3月31日まで

Ⅱ　事業の成果

吹田市立市民公益活動センター（ラコルタ）の管理運営も軌道にのり、9月には一周年イベントを開催し多くの参加者を迎えることが出来た。ラコルタが周知されてきたと共に、吹田市内の様々な地域課題も持ち込まれるようになり、更に会議室等の利用者・センター訪問者も顕著に増加してきた。ラコルタの管理運営においては、事業計画書に記載した以上に事業を実施することが出来た。

また、昨年4月より吹田市では施設使用料減免制度が廃止され、市民公益活動に支障が生ずる事態が発生した。市民公益活動促進の立場から減免制度廃止の疑問点を質問状にして市に提出し、その担当部局とも話合いを持ち、市民活動団体が直面している経済的課題について配慮が必要なことを中間支援団体として申し入れをした。

Ⅲ　事業の実施状況

1．市民公益活動に関する情報収集・提供・広報を支援に関する事業

①ホームページの運営（2013年4月～2014年3月）

市民公益活動支援・促進する団体として当法人のホームページを通じて、情報発信の基地となるように情報収集を行い各種情報発信に努めた。

②広報紙の発行（2013年4月～2014年3月）

CNSニュースを1000部4回（№7～10）発行し、公共施設や市民公益活動団体などを通じて、広く市民に配布した。特に施設使用料減免制度の廃止についての取材や、市民公益活動審議会会長の澤山先生へのインタビュー、市内で活発に活動している当会員の紹介など充実した紙面になった。

2．市民公益活動拠点施設を管理運営する事業

①　吹田市立市民公益活動センターの管理運営（指定管理者）（2013年4月～2014年3月）

市民公益活動を支援するセンターとして、1年7か月が経ち多くの市民が気さくに立ち寄れる場になってきた感がある。「何かボランティアをしたい」「私に何かできることがあるだろうか」そうした社会貢献を考える方が、答えを求めに来てくださる場になってきた。

また、様々な市民団体との共催で事業開催できたことで、活動が広がっている。

（詳細は「2013年度吹田市立市民公益活動センター事業報告」参照）

②第6回北摂地域市民活動支援センター交流会（2013年9月13日）の主催

今回は、施設見学、意見交換会、ドキュメンタリー映画『ワーカーズ』上映の3部構成で実施した。意見交換会には7市から23名の方が参加された。「吹田市のボランティアグループ・NPO実態調査結果から中間支援組織の未来を考える」というテーマで当法人から話題提供を行い、真剣な経験交流、意見交換が行われた。

その後、ドキュメンタリー映画『ワーカーズ』を上映し「新しい働き方～協同労働～を考える」と題して法橋聡さんにお話し頂いた。20名ほどで懇親会を持つことも出来た。

③KNN（関西 NPO 支援センターネットワーク）研究会に参加

・第 24 回研究会 2013 年 12 月 19 日（木）会場：堺

堺の市民活動コーナーが市役所から福祉会館に移転された見学も兼ねた。また、NPO 法人認証業務権限移譲以降の府の認証等の動きや、ＫＮＮの今後のあり方について意見交換した。

・第 25 回研究会、2014 年 3 月 4 日（火）会場：大阪ボランティア協会

市民活動スクエア「ＣＡＮＶＡＳ谷町」で、ＫＮＮの今までをふりかえりながら、今後のあり方を考えた。

３．市民公益活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業

2011 年の東日本大震災の後、復興支援のために市内でできることをやっていこうと立ち上がった「復興支援すいた市民会議」に加わり、ラコルタを中心にして子育て中のお母さんの団体や大阪学院大学や関西大学の学生や研究室との連携をコーディネートしながら、つぎの事業を行った。

①2013 年 11 月 10 日

東日本大震災復興支援チャリティーイベント「みんなの元気、東北へ in ラコルタ」開催

②2014 年 1 月 15 日～19 日

「被災地を考えるパネル展」を千里ニュータウンプラザ 2 階ロビーで開催

③2014 年 2 月 11 日

「ママとキッズのバレンタインチャリティー」をラコルタで開催

４．市民公益活動の促進のための社会的な環境の整備を行う事業

①第 8 回「大阪商工信金社会福祉賞」の推薦

社会貢献活動に取組んでいる団体及びプロジェクトに贈られる「大阪商工信金社会福祉賞」の推薦団体になり、2 団体を推薦した。

②関西大学で開催された NPO 学会での広報活動

3 月 15・16 日、関西大学で開催された NPO 学会で情報紙等の配布をした。

市民ネットすいたの情報紙・ラコルタのリーフレット、ボランティアグループ・NPO 実態調査の報告書を配布し、多くの NPO 団体や NPO 研究者とコンタクトを持つことが出来た。

Ⅳ　社員総会の開催

2013 年 5 月 19 日（日）、2013 年社員総会を開催し、2012 年度の事業報告書（案）、収支計算書

（案）、定款変更、2013 年度の事業計画書（案）、活動予算書（案）について審議した結果、可決承認された。出席者は、社員 54 名のうち委任状出席者を含めて 38 名であった。

Ⅴ　理事会運営

定例理事会および臨時理事会をつぎのとおり開催し、事業の企画・実施体制・結果報告など PDCA サイクルを回し、確実に事業が実施できる運営を進めた。

2013 年度

第 1 回理事会	4 月 25 日	
第 2 回理事会	5 月 23 日	
第 3 回理事会	6 月 27 日	
第 4 回理事会	7 月 18 日	
第 5 回理事会	8 月 21 日	
第 6 回理事会	9 月 19 日	
第 7 回理事会	10 月 31 日	
第 8 回理事会	11 月 21 日	
第 9 回理事会	12 月 19 日	
第 10 回理事会	1 月 21 日	（臨時理事会）
第 11 回理事会	1 月 23 日	
第 12 回理事会	2 月 20 日	
第 13 回理事会	3 月 20 日	

2013年度市民公益活動センター事業報告書

（2013年4月から2014年3月まで）

ＮＰＯ法人　市民ネットすいた

１．市民公益活動拠点施設を管理運営する事業

（１）センター職員としての能力向上対策

［内　　容］　以下の研修以外に、個々の職員の相談対応力・コーディネート力を向上し、担当できる相談等の案件の幅をできるだけ広げるために、相談対応検討会（月１回）を開催した。

［実施日時］　①2013年5月17日：「市民活動における協働とは」／（認定ＮＰＯ）大阪ＮＰＯセンター事務局次長　堀野亘求

②2013年5月23日：「人権侵害対応研修差別意識の解消に向けて」のうち、行政職員向け「土地差別問題を考える」／吹田市人権DVD

③2013年6月10日：「市民公益活動およびセンター事業に対する理解を深め、センターの業務運営に生かしていくことを目的したワークショップ研修」／職員相互

④2013年6月15日：「入門講座～吹田市政全般について～」：まちづくり吹田学塾／市民協働学習センター

⑤2013年6月22日：「吹田市の産業振興について」まちづくり吹田学塾／市民協働学習センター

⑥2013年6月29日：「幼稚園・保育園の現状と今後について」まちづくり吹田学塾／市民協働学習センター

⑦2013年7月19日：「仲良くなる」から「ケンカもできる」コミュニケーションへ～人権の視点から市民公益活動を進めるために／エフラボ　栗本敦子

⑧2013年11月30日：「クラウドファンディング講座」／大阪市立市民交流センターよどがわ

⑨2013年12月11日：「Facebook研修」事前研修／サロン文化大学　狩野哲也

⑩2013年12月1日：ボランティアコーディネーション力検定（研修）3級受講／日本ボランティアコーディネーター協会

⑪2014年1月21日：「ＮＰＯがYahooを使って無料で広報」／大阪ボランティア協会

［事業の対象者］センター職員、理事

（２）センターの存在・機能の周知の徹底

［内　　容］　施設利用促進のためには施設の存在と機能を広く知ってもらう必要があり、広報を以下のように行って、これまで利用機会のなかった市民にも施設を知ってもらう。

ア）地縁団体・サークル活動団体へは市の担当部門や他施設と連携して知らせる。施設案内だけでなく、地縁団体が特に利用しやすいサービスを具体的に知らせるような案内をする。

イ）館内の他施設や、市民活動の拠点機能・支援機能がある市内の機関へは施設案内パンフレットや事業チラシの設置を依頼する。

ウ）市報掲載をはじめ、既存のマスメディアにも掲載依頼・取材依頼を行う。

［実施日時］ 2013 年 4 月～2014 年 3 月

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者、行政

（３）センター内施設の使用許可業務

［内　　容］ センター内の会議室、貸事務室スペース、メールボックス、倉庫、印刷機などの使用の許可を適正に行い、確実に利用料を徴収する。

［実施日時］ 2013 年 4 月～2014 年 3 月

［事業の対象者］ 吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者、行政

２．市民公益活動に関する相談事業

［内　　容］ 相談受付…開館時間内随時。

相談対応…窓口で対応可能なものは随時。それ以外の相談等は、対応者と日時を調整して対応した。

活動希望の相談：窓口で随時対応するほか、講座・研修事業として小規模の市民公益活動入門講座を月 1 回開催し、終了後個別相談に対応した。また、講座・研修事業のＮＰＯ・ボランティアグループデビュー講座と連動して、活動を希望する市民と団体の調整を行い、活動体験につなげた。

専門相談：税務・会計・労務など有資格者による相談日を設定した。（予約制）
①2013 年 6 月 28 日 2 名②8 月 31 日 7 名③11 月 2 日 2 名④12 月 12 日 1 名⑤2014 年 1 月 19 日 8 名⑥3 月 19 日 1 名

ＮＰＯ法人相談：窓口で随時対応するほか、専門相談日を 6 回設けた。（予約制）①2013 年 5 月 17 日 1 名②7 月 25 日 1 名③9 月 20 日 0 名④11 月 21 日 1 名⑤2014 年 1 月 16 日 0 名⑥3 月 20 日 0 名

［事業の対象者］ 吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者

３．市民公益活動に関する情報提供・広報を支援する事業

（１）ウェブサイト

［内　　容］ 更新頻度：随時（週 1 回程度）

主なコンテンツ：当施設の開催事業案内、市民公益活動団体情報、施設運営に関す

る情報公開を行った。

市民公益活動団体のデーターベースも市から移管した。

Facebook： 3月に開設してセンターの事業案内を開始した。

［実施日時］　2013年4月～2014年3月

（２）ニュースレター

［内　　容］　発行部数…2000部

発行頻度…4回（2013年6月、9月、12月、2014年3月）／年発行

主な記事…4面構成で、1面は当センターの事業報告、2、3面は市民公益活動に取り組む大学生の座談会などの企画や『市民が主役！のまちづくり～吹田市総合計画に生かしていきたい「市民力」～』として、吹田市総合計画審議会の今川晃会長へのインタビューを行った。4面は当施設で行われる講座・イベント等の案内、当施設以外（浜屋敷、吹田市社会福祉協議会）で行われる講座・イベント、などの情報を掲載した。

配布先　…登録団体、当施設利用者、市役所の関連部門、市内の公共施設、市外の市民活動センター・中間支援組織など

［実施日時］　2013年4月～2014年3月

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者、行政

（３）「ボランティアグループ・ＮＰＯガイドブック」の発行

［内　　容］　掲載項目や分量を見直して、活動に参加する時に役立つ情報（豆知識）や市民公益活動団体に便利な情報も追加掲載したこともあって、予定部数500冊を早々に消化したため、9月に追加印刷を行い全部で1,000冊発行した。次年度からは、掲載団体の多くが総会終了後の新体制に整ってから発行することにして、4月発行から9月発行に変更することにした。ウェブサイトにも同じ内容の市民公益活動団体のデーターベースを搭載した。

［実施日時］　2013年4月～2014年3月

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者、行政

（４）メールマガジン

［内　　容］　発行頻度は2週間に1回。センターの事業案内や助成金情報などを送る。

［実施日時］　2013年4月～2014年3月

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民、事業者、行政

４．市民公益活動に関する講座・研修事業

（１）一般市民、活動を始めたい人を対象とした講座・研修

［内　　容］　市民が市民公益活動に対する理解、認識を深め、活動に参加する初めの一歩となる講座を開催する。

実施講座……ア）市民公益活動入門講座（毎月１回　12 回）

「自分に合ったボランティア活動を見つけませんか？」という呼びかけで、内部講師が少人数の受講者を対象に市民公益活動の基本的なことを解説し、終了後、個別相談に対応する中で具体的な活動につないだ。

イ）ＮＰＯ・ボランティアグループデビュー講座（1回）

市民公益活動スタートのきっかけとして、簡単なレクチャーのあと、実際に活動を体験してもらう講座。今年度は2013年11月28日の市民公益活動入門講座と合体して、講座から活動までの一連の流れで実施した。

ウ）地域活動デビュー講座（2 回）

①2013 年 11 月 8 日 10 名　西山田ふらっとサロン

②2014 年 3 月 22 日 8 名　山一公民館

転入者や独身者、リタイア層など、これまで比較的地縁団体になじみのない層を対象に、自治会など地縁をベースにした西山田ふらっとサロンと、山一公民館館長をゲストスピーカーとしたテーマカフェ形式の 2 つの取り組み方を行った。

［事業の対象者］市民

（２）ＮＰＯ法人を知りたい人・団体を対象とした講座・研修

［内　　容］　ＮＰＯ法人制度について知ってもらい、市民公益活動団体の創設や市民公益活動団体の法人化に役立ててもらう。

実施講座…ＮＰＯ法人入門講座（6 回）

内部講師が少人数の受講者を対象にＮＰＯとは何か、ＮＰＯ法人とは何かを伝え、市民公益活動に組織で取り組むにあたって考えるポイント、法人化検討のポイントなどを解説した。終了後には、具体的な個別相談に対応した。

［実施日時］　隔月 1 回　2013 年①4 月 25 日 5 名②6 月 21 日 10 名③8 月 28 日 8 名

④10 月 18 日 6 名⑤12 月 15 日 12 名

2014 年⑥2 月 13 日 10 名

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体、市民

（３）市民公益活動団体を対象とした講座・研修

［内　　容］　市民公益活動団体のマネジメント力などの強化や、活動に役立つスキルの向上を図る。

実施講座…ア）会計、税務に関する講座（2 回）

専門家を講師に、記帳、決算処理、ＮＰＯ法人会計基準、税務などの内容で開催した。

①2013 年 8 月 31 日 6 名　　②2014 年 1 月 19 日 7 名

イ）団体情報の発信に関する講座（3 回）

広報のノウハウや、スキルアップ、新たなメディアの利用に関する講座。Facebook をはじめとした SNS の活用、マーケティングを意識した広報のあり方などを学ぶ。

①2013 年 4 月 18 日 23 名：写真をチラシや会報誌に活かす講座。

②2013 年 8 月 23 日 7 名：「ZINE」という手法も用いて個人が発信するフリーペーパー作成ワークショップ。

③2014 年 3 月 29 日 6 名:Facebook を使って団体の広報を学ぶ講座。

ウ）財源の確保に関する講座（3 回）

補助金・助成金、会員拡大、自主事業財源などをテーマにした講座。各助成団体や市の吹田市市民公益活動促進補助金の助成金・補助金の概要を聞き、申請のコツを学んだ。

①2013 年 10 月 12 日 8 名：阪急阪神ホールディングス

②2013 年 12 月 21 日 14 名：近畿ろうきん

③2014 年 3 月 1 日 14 名：吹田市市民公益活動促進補助金

エ）ＮＰＯ・ボランティアグループ運営講座（2 回）

市民公益活動団体の共通の関心事、基本的なこととして、「人権」の大切さを身近に感じられるような講座を参加型で開催した。また、市民公益活動の有機的かつ効果的な活動に繋げていくために、タブレットの操作方法（スマホ&PC との違い）や特徴についての解説からインターネット、メールなどの実務面での活用方法についても説明する講座を開催した。

①2013 年 7 月 19 日 14 名：「『仲良くなる』から『ケンカもできる』コミュニケーションへ　～人権の視点から市民公益活動を進めるために～」

②2013 年 10 月 19 日 20 名：「初心者のためのタブレット講座～グループ運営に役立てよう～」

オ）地域コミュニティ運営講座（1 回）2013 年 9 月 14 日 37 名

他市の地域運営のユニークな事例などを取り上げた講座。泉北ニュータウンの地縁組織とＮＰＯが協働で地域課題の解決にあたる事例を学んだ。

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体

５．市民公益活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会等との交流・連携を促進する事業

（１）市民公益活動のフェスタ

ア）かえっこバザール　プレイベント：2014 年 1 月 25 日 150 名　本番：2014 年 3 月 15 日 860 名

企画・運営はボランティア、市民公益活動団体などが参画する実行委員会方式。子育て世代の市民公益活動を知る、または参画する機会として捉える。使わなくなったおもちゃを捨てず

に再利用することで環境負荷を低減すると同時に、世代間交流を通じて、地域の活性化を図るイベントをプレイベントと本番で 2 回開催した。ニュータウンプラザ内の他施設（花と緑の情報センター、図書館、国際交流協会、平和祈念資料館）との連携も行った。普段なかなか市民活動に参加しにくい子育て世代に向けて開催することで、センターを知るきっかけにしてもらうだけでなく、子どもたちの社会貢献活動への参加促進にもつながる内容とした。

イ）ラコルタまちあそびプロジェクト「みんな集まれ！超特大紙相撲大会」

力士づくり WS ：2013 年 8 月 25 日　紙相撲大会本番：2013 年 9 月 15 日 100 名

ラコルタの 1 周年記念週間の一環で行った。地域がつながり、市民公益活動を身近な親しみやすいものに感じてもらうことを目的に、「紙相撲」という伝統的で誰でも参加しやすい「あそび」を通じて、地域の活性化や多世代の交流を行った。市民公益活動団体だけでなく、市民の参加を促し、イベントの協賛として山崎パンはじめ、南千里ガーデンモールの事業者、駅前のクリスタルホテルにも参加してもらった。

ウ）劇団化け猫一座「貴方らしくーガラスの向こう側よりー」: 2013 年 7 月 7 日 225 名

西山田地区公民館と共催で、西山田地区公民館で始まった「劇団を作ろう講座」を母体とする劇団の公開講座を兼ねた公演を行った。市民公益活動をテーマに取り上げ、ラコルタを舞台に 2 回公演を行った。

エ）ふるまいカフェ：2013 年 9 月 10 日～14 日　1 日あたり約 30 名

ボランティアグループタンポポの協力を得て、ラコルタ開設 1 周年記念週間にカフェの出前をして、利用者にお茶をふるまってもらった。

オ）ラコルタ利用者　大交流会：2013 年 9 月 14 日約 60 名

ラコルタ開設 1 周年を記念して、日常的にラコルタを利用いただいている全ての利用者を対象に一周年を祝い、今後の発展を願う交流会を開催した。

カ）ボランティアフェスタ：2013 年 5 月 26 日

既存イベントに企画側として参画するとして、吹田市社会福祉協議会主催のボランティアフェスタに実行委員会のメンバーとして参画し、全市的に市民公益活動を支援できるよう、ボランティア相談を行った。

（2）「分野別団体交流会」（年 4 回）

［内　　容］　福祉、環境、喫茶ボランティア（コミュニティづくり）、子ども育成など分野別に団体の交流会を実施し、互いの活動を知り合うと同時に直面する共通課題について話し合い、自団体の活動へのヒントを得たり、支援機関や他団体と連携して事業を行ったりするきっかけにしてもらう。施設利用者の声などから具体的な交流ニーズが高いと思われる分野から順次実施した。まちづくり、環境、文化、福祉、子育て支援の発展形として（学童期・ＰＴＡ）など

実施交流会…①2013 年 7 月 21 日 28 名：ラコルタミーティング

昨年度に調査を行った「吹田市ＮＰＯ・ボランティアグループ実態調査報告書」を基に、各分野毎の課題を共有するワークショップを行った。

②2013年9月11日30名：喫茶ボランティア

吹田市内、各施設でいろんな形で活動している喫茶ボランティア団体であるが、ほとんど交流する場面がない。そもそもの目的を交流しながら、互いに抱える人材不足などの課題について考えた。

③2013年9月12日12名：学童期の子育て支援団体

2013年1月13日に開催した「子育て支援団体交流会」で、次回交流会へ繋げることを満場一致で可決したことを受け、学童期の子育て支援団体を対象にした交流会を行った。

④2014年2月14日9名：絵本のボランティア

図書館やコミセン、公民館、小学校を拠点に絵本の読み聞かせや子どもたちに本に接する機会を持ってもらう活動など、絵本を中心にした活動団体の交流会を実施した。図書館でもこうしたボランティア団体の支援は、各図書館ごとにあるようだが一同に会してのお顔合わせは今回が初めてであった。

［事業の対象者］吹田市内で活動する市民公益活動団体

（３）市民協働マッチング(2回)

［内　　容］　特定の社会課題を提示して関心のある市民公益活動団体や機関・事業者などが集まり、シーズ（提供できます）とニーズ（提供してください）を出し合い、マッチングの機会にし、分野やセクターを超えた連携を生む場にする。

①2013年6月23日54名：OPH津雲台自治会、
2013年6月29日30名：府営吹田岸部自治会

建て替えやリニューアルに伴うコミュニティづくりについて、大阪府住宅供給公社からの相談を受けた。ＮＰＯやボランティアグループの協力を得て、住民の交流の場を企画し、大阪府住宅供給公社と各自治会と共催で2か所で実施した。

②2013年6月30日20名：「これからの社会に必要な成年後見制度とは？」
～地域における権利擁護活動の視点から～

少子高齢化や核家族化の進行などにより家族機能が低下している中で、当事者本人の生活状況や財産状況についての多様なニーズに応える、「市民後見人」などの新しい社会資源の開発に向けて、ＮＰＯ、弁護士の専門家協働マッチングを高齢者福祉の専門家である龍谷大学の筒井のり子氏の基調講演とシンポジウム形式で行った。

［事業の対象者］　吹田市内で活動する市民公益活動団体、行政、企業、市民など

（４）「現場で学ぶ団体運営学習会」(6回程度)

［内　　容］　ＮＰＯ法人入門講座と連動しながら、見学などの受け入れが可能な市民公益活動団体と見学希望者の日程調整をして、随時見学会を実施した。

［実施場所］　さたけん家、あっとすくーる、モモの家、豊中まちかど広場

［実施日時］　①2013年6月7日4名：さたけん家　②2013年6月26日4名：あっとすくーる
③2013年10月12日3名：モモの家　④2014年2月7日5名：豊中まちかど広場
［事業の対象者］市民

（５）テーマカフェ（年６回）
［内　　容］　特定のテーマで自由に語り合える「カフェ」を開催し、関心のある人たちが集まる場を提供した。ラコルタ開設１周年記念週間には連日開催し、当初の予定の６回を超えて開催した。
［実施日時］　①2013 年 5 月 12 日 15 名：母親も社会とつながりたい！「親になってはたらくことを語ろう」
②2013 年 7 月 13 日 9 名：わたしのまちを見直しませんか？
「地域のつながりづくりについて」
③2013 年 9 月 10 日 9 名：ラコルタファンミーティング（ラコルタ開設１周年記念）
④2013 年 9 月 11 日 5 名:まわし読み新聞を作りましょう！(ラコルタ開設１周年記念)
⑤2013 年 9 月 12 日 20 名：手作りサロン（ラコルタ開設１周年記念）
⑥2013 年 9 月 13 日 12 名：自分の健康づくりと「まち」の健康づくり
（ラコルタ開設１周年記念）
⑦2013 年 9 月 14 日 8 名：花とみどりのトークカフェ（ラコルタ開設１周年記念）
⑧2013 年 12 月 14 日 2 名：まわし読み新聞を作りましょう！
⑨2014 年 2 月 8 日 3 名：まわし読み新聞を作りましょう！
⑩2014 年 3 月 9 日 11 名：「Facebook」でなかまをつくろう！
［事業の対象者］市民

（６）「このゆびとまれ」の会（1 回）
［内　　容］　市民公益活動でやりたいことが具体的にある個人、なにかやってみたい個人が集まり、やりたいことがある人たちが「こんなことをやりたい」と発表した昨年度の「このゆびとまれ」の会の発表者の企画進捗の報告会を開催した。報告会での意見交換を通じて、団体立ち上げ支援を強化し、運営サポートと 1 年間の会場提供も行った。その他、地域包括支援センターの相談案件から団体立ち上げ支援の認知症サポーターの交流会を地域包括支援センターと共催で開催した。
［実施日時］　①2013 年 9 月 12 日 20 名：「みんなのやる気を応援しよう！」
②2014 年 2 月 7 日 30 名：認知症サポーター活動団体立ち上げ・運営支援のための交流会
［事業の対象者］市民、認知症サポーター

（７）東日本大震災と原発事故により吹田市に避難された方からの相談窓口開設
［内　　容］　東日本大震災と原発事故により吹田市に避難された方々の生活支援と現地のＮＰＯなどの支援を目的に、避難者からの生活に関わるあらゆる相談に対応し、その解決のために行政や市民公益活動団体、企業、市民などに支援を求める。また、復興支援すいた市民会議に参加し、このセンターで復興支援につながる情報を収集し、避難

者に提供することやチャリティなどの共催事業の企画も行う。

［実施日時］　2013 年 4 月～2014 年 3 月

［事業の対象者］東日本大震災と原発事故により吹田市に避難された方や、東日本大震災現地支援ＮＰＯ、市民公益活動団体、行政、企業、市民

（８）その他の講座・研修

社会的な緊急課題や市民公益活動への影響が大きい動向・政策など、多くの人の関心を呼び市民公益活動の促進に役立つようなテーマがある場合は、タイムリーに開催する。

［内　　容］　①2013 年 9 月 13 日 36 名：映画「ワーカーズ」上映＆トーク“これからの「地域づくり」と「働き方」”

ワーカーズコープと共催で、子育て・介護など、人に関わる仕事を通して、地域の人たちとつながり、助け合って仕事をおこす「ワーカーズコープ」のドキュメンタリー映画を上映した。NPO 法人 共生型経済推進フォーラム運営委員であり、近畿労金地域共生推進部部長の法橋聡さんを招いて「地域づくり」や「まちづくり」についてトークセッションを行った。

②2013 年 9 月 11 日 22 名：「福島から学んだことを関西に」

関西大学の東日本大震災復興支援のボランティアグループ Up to you が、８月に訪れた福島での活動報告会。

③2013 年 11 月 10 日 320 名：「東日本大震災復興支援チャリティ in ラコルタ」

10 月に行った宮城県、福島県の現状と支援先 NPO を視察報告会も開催した。

④2014 年 1 月 15～19 日千里ニュータウンプラザ 2 階エントランス、3 月 4～7 日吹田市役所本庁ロビー：復興支援 現地視察パネル展

⑤2014 年 1 月 15 日 32 名：ママの防災講座

⑥2014 年 2 月 11 日 500 名：「風化させない東北復興支援～ママとキッズのバレンタインチャリティー～」

子育て世代へ被災地の現状や防災の必要性を伝え、日頃チャリティーに参加する機会のない層へのボランティア活動、チャリティ活動の働きかけを行った。

［事業の対象者］市民

（９）北摂地域無料法律相談（大阪弁護士会の法律相談）

［内　　容］　法律相談を定期的に開催した。

［実施日時］　2013 年 6 月～2014 年 3 月　毎月 2 回午後 1 時 15 分～4 時 15 分　会議室１

［事業の対象者］市民

(10) おすそわけマーケット（常設）

［内　　容］　ラコルタ開設1周年記念事業の1つとして開催した。ひとむかし前なら日常にあった「おすそわけ」の習慣やご近所づきあいをセンターで復活させるプロジェクト。おすそわけからはじまる新しい地域コミュニケーションとして、利用者の層を広げることとなった。編集者の狩野哲也氏と共催。当初は、ラコルタ開設1周年記念週間の間だけ

の予定だったが、継続を望む声が利用者から多数上がり、年間の継続事業とした。

［実施日時］　2013 年 9 月～2014 年 3 月

［事業の対象者］市民

６．市民公益活動に関する調査・研究・政策提言などの市民公益活動の社会的環境整備を行う事業

（１）社会貢献ハンドブックの作成

［内　　容］　社会貢献をしたいという思いを持った市民が､容易に社会貢献をできるようになるためのガイドブックを作成する。中学生から読めるようイラストや内容に工夫した。

［発行概要］　16 ページの冊子を illustrator 等で作成し製本した｡市内公共施設や中学校、高校、大学にも配布するとともにウェブサイトからは無料配布する。

［実施日時］　2013 年 8 月～2014 年 3 月

［事業の対象者］中学生～大学生など、子どもから青年

（２）その他の調査研究

施設利用者に対してアンケート調査やヒアリングなどでニーズを調査し、結果はラコルタ内に掲示し､利用者懇談会で公表する｡交流スペースでのインターネット利用についてニーズ調査を行い、現状での交流スペースでの使用を望む声が少なかったので、無線ランなどの導入は一旦見送った。

７．施設運営について

（１）利用者懇談会

事務ブース団体、利用者、センター長、職員で構成する。市の担当者はオブザーバーで参加する。指定管理者として CNS 代表も出席。基本的には年 4 回開催。(6 月、9 月、12 月、3 月)

［内　　容］　事業報告とセンターの運営や利用、サービスに関しての意見を出してもらい、運営に反映していく。

（２）ボランティア制度

登録ボランティア（ラコルタサポーター）がラコルタと協力しながら、超特大紙相撲やかえっこバザールなどの事業企画を進めてきた。

また、単発短時間で取り組める「ぷちボラ」の制度で、ボランティアの経験のない市民が初めてのボランティア活動として取り組む仕組みとして機能することができた。

（３）インターンシップの受け入れ

大阪大学大学院生を 1 名、8 月～3 月の長期にわたって受け入れた。

8．自主事業

（１）コミュニティカレッジ（仮称）構想

地域の課題解決や活性化に向けた市民公益活動を行う地縁団体やボランティア、ＮＰＯなどの公

共人材育成に取り組み、次世代の市民公益活動の担い手を生み出す新しい学びの場として「コミュニティカレッジ」を計画するための研修会を行った。

［内　　容］　大阪市立大学大学院創造都市研究科柏木宏氏を講師に、コミュニティカレッジとは何かを考える「地域課題と中間支援」について研修を行った。20 名

［実施日時］　2014 年 3 月 3 日

［事業の対象者］法人理事、スタッフ、市民協働学習センターの運営委委員、市民自治推進室と文化のまちづくり室の担当行政職員。